

## 編集後記

地球温暖化の声とは裏腹に、寒い日が続き、思わず背が丸くなる自分。しかしこれは、寒さのためよりは、歳による衰えのためと実感するこのごろでもあります。事実、先日の積雪13cmがこの冬初めてのことで、子供のころはこんな雪は、一冬に何度も経験し、雪達磨だ、雪合戦だと楽しんだものだったな—とまたまた、老いの繰言。

さて、この号の「明日の臨床」に寄せられた珠玉の論文6編は、どれも寒さを吹き飛ばす熱い息吹に満ちた充実したものがそろいました。このような論文集を編むことができることは、まさに編集者冥利に尽きます。

このような論文を前にして、今、浮かぶ感慨は、「継続は力である」こと。明日の臨床もVOL19を重ね、着実に会員に根付いていることがうかがい知れます。その意味で、それを育てはぐくんできた執筆者のみなさん、論文の執筆者を掘り起こし、編集に苦労を重ねてきた歴代の編集者、とりわけ担当事務諸兄弟の努力に頭が下がります。

そして、もうひとつのキーワード、「団結は力なり」。医療費改定が、決して望む方向になりそうになり、それが危惧される中で、保険医協会の学術的なとりでの編集をとおして、やはり、継続と団結の大切さを痛感しています。

ちょっと硬い編集後記になったかな。

〔杉藤徹志〕

---

### 編集委員 (50音順 \*印委員長)

池山 淳 粥川 裕平 杉藤 徹志\*  
高橋 英世 松本 美富士 山本 武司

---

明日の臨床

Vol. 19 No. 2

2007年12月25日発行

編集 明日の臨床編集委員会

発行所 愛知県保険医協会

〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2

☎ (052) 832-1345

制作 (株)東海共同印刷

---

頒価 1,000円・発行部数 7,000部